

●パワーユニットのねらい

より幅広いシチュエーションでの扱いやすさを実現するため、軽量化を図った高密度な新車体パッケージを成立させることを前提としながら動力性能、燃費性能、エンジンフィールの質感向上を目指しF6パワーユニットを開発しました。

パワーユニットのねらいは

スムーズ&アグレッシブな新世代F6ユニット

初代ゴールドウイングは、「最高を求める人が悠然と乗れる、最上級グランドツアラー」の実現を目指し、エンジン形式には低重心、低振動、静粛性を特徴とする水冷縦置きフラット4ユニットを採用しました。この初代パワーユニットは、現在まで進化させながら受け継がれている縦置きエンジン特有のクランクシャフトトルク反力を打ち消す balanser 機能、より低重心化に寄与するエンジン主要各軸の配置、メンテナンスフリーのシャフトドライブ駆動などのスペックを備えていました。その後、排気量拡大、6気筒化、クルーズコントロール、リバース機構の追加など、ゴールドウイングのパワーユニットは40年以上にわたって常にお客様の要望とともに先進性を高め、進化を遂げてきました。

新しいゴールドウイングのパワーユニットは、モーターサイクルでは唯一無二の縦置き水冷4ストローク水平対向6気筒1800cc (F6) の形式を継承しながら全てを新設計。大幅な軽量コンパクト化を図りながら、重厚感、パルス感を持つサウンドを伴った低回転域での余裕あるトルク特性による、ゆったりしたクルーズ性能とそこからのダイナミックな加速の実現と同時に、燃焼効率の追求とアイドリングストップ*採用などにより燃費向上を実現しました。

また、トランスミッションは、マニュアルトランスミッションを従来の5速から6速化したことに加え、Honda 独自の三代目となる7速 Dual Clutch Transmission (DCT)、新方式の微速前後進機能を追加するなど、さらなる扱いやすさと操作フィールの上質感向上を図りました。

※ Gold Wing Tour Dual Clutch Transmission (AIRBAG)



■縦置 水冷4ストローク 水平対向6気筒 1800ccエンジン